

ハンドボール

No.27 (10/9.No.7の)

サイン用

訂正版)

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 少年男子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合番号 **E-⑦**

年月日 2023 年 10 月 9 日 (月)
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動かしま国体 ハンドボール競技

公 式 記 録 用 紙

A 埼玉県										B 長崎県									
鹿兒島県					霧島市					霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ					2回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mX0-3X7X0	A	B					
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数								
	14	14	28	29								4/5							
	2/2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4/5								
			2911	0923	2613				2152	1552	2917								

No.	埼玉県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	長崎県	G	W	2'	2'	D	DR
1	遠藤 聖直							1	高祖 健太						
2	加崎 條一郎	4						2	井田 健心	1		1			
3	榎本 陽太	4						3	今岡 慶太	1					
4	迫 大雅	2						4	齊藤 真人	1					
5	大腰 諒							5	大田 一輝	9					
6	杉山 翔	1						6	朝比奈 秀						
7	大久保 昌憲	9						7	道向 優希						
8	塩畑 陽太	5		1				8	前田 修汰	1					
9	大島 泰河	2						9	中尾 一太	4	1	1			
10	天野 風雅	1		1	1			10	檜垣 樹聖	7					
11	藤原 結陽			1		1		11	川田 陽輝	5					
12	阿部 竜士							12	榎 澤音						
監督A	大高 正人							監督A	末岡 政広						
役員B	和久 長義							役員B	山川 哲治						
役員C	松尾 茂雄							役員C	小川 直宏						
役員D	岩本 岳														

A	大高正人	チーム役員A署名	末岡政広	B
特記事項				

レフェリー	小田 健介	鈴木 孝明	小田健介	鈴木孝明
TD	福島 亮一	上村 英司	福島亮一	上村英司
MO	福島 亮一		福島亮一	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No. 29 (10/9 No. 9の訂正版)

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月 9日 (月)	試合番号	E-⑦	回戦	2回戦
種別	少年男子	会場	霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ		

Aチーム名			Bチーム名		
埼玉県			長崎県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	14	前半	14	29	
	14	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

1回戦で兵庫を延長の末にくだした埼玉と、この試合が初戦となった長崎との一戦。
埼玉②加崎のポストシュートで先制するが長崎⑩川田のカットインですぐさま取り返す。
開始8分過ぎまで互いに連続得点を許さない展開だったが埼玉⑦大久保、③榎本の連続得点と長崎⑨中尾の2分間退場をきっかけに埼玉が徐々に流れをつかみ前半15分で10対8と埼玉がリードする。
その後は両チームのGKの好セーブもあり互いに一進一退の攻防が続いたが、前半18分から21分まで埼玉が3連続得点で13対9としたところで長崎がタイムアウト、タイムアウト明けに長崎が息を吹き返し一気に13対11とする。さらにサイドシュートに対しての接触により⑩藤原が失格となりこれで得た7mTを⑩榎垣が決め13対12の1点差とした。前半28分、長崎は7人攻撃を行い、⑩榎垣のカットインから7mTを獲得、その際に⑩天野が2分間退場。⑩川田が7mTを決めて同点とし前半を終了した。
互いにディフェンスのシステムを変えて臨んだ後半戦、開始早々長崎が2連続得点、埼玉⑧塩畑の退場で流れをつかみ、後半4分で15対18と長崎がリードする。その後、点差が縮まらないままだったが後半7分から9分の間に長崎が3連続得点17対21としたところで埼玉がタイムアウト、その後埼玉が2連続得点したが長崎⑥大田のスカイプレーも飛び出し19対24となる。ところが後半13分②加崎の得点から流れは一変、埼玉の5連続得点で24対24の同点とする。対する長崎も2連続得点で後半20分までに24対26と再び2点差とする。点差が縮まらないままの埼玉は27分から7人攻撃で打開を図り28対29と1点差まで詰めたが長崎⑩柳のファインセーブで締めくくり長崎が逃げ切った。

記者氏名	山元 龍平
送信日時	10月 9日 (月) 11:30